

創立53周年

ブリティッシュスタイルの金管バンド

# 東京ブラスソサエティ

## 第49回定期演奏会



Yamamoto  
Takeo

### I 部

指揮 太田 聡  
Cond. Ohta Satoshi



Satoshi  
Ohta

- スピットファイア 前奏曲とフーガ ウイリアム・ウォルトン/シエルガー・ハワース編曲  
Prelude and Fugue from The Spitfire William Walton arr. Elgar Howarth
- 映画「ひまわり」より サンフラワー ヘンリー・マンシーニ/西村友編曲  
Sunflower ~Loss Of Love~ Henry Mancini arr. You Nishimura  
E ♭ Bass Solo 鈴木敏夫 Toshiyuki Suzuki
- ゴジラのテーマ 怪獣大戦争マーチ 伊福部昭  
The Theme of GODZILLA Akira Ifukube  
March from Invasion of Astro-Monster
- シャイン・アズ・ザ・ライト ピーター・グレイアム  
Shine as the Light Peter Graham

### II 部

指揮 山本武雄  
Cond. Yamamoto Takeo

マーチ:パンチネルロ ウイリアム・リマー  
March PUNCHINELLO William Rimmer

コサックの叫び ピーター・グレイアム  
Call of the Cossacks Peter Graham

タタール人の行進 Procession of the Tartars  
ジプシーの夢 Gypsy Dream

コサック ファイア ダンス Cossack Fire Dance

ドイルの嘆き Doyle's Lament

コサック ウエディング ダンス Cossack Wedding Dance

デリー地方のアイランド民謡 パーシー・グレンジャー/D.ライト編曲  
Irish Tune from County Derry Percy Grainger arr. D. Wright

ドラゴンの年 フィリップ・スパーク  
The Year of Dragon Philip Sparke



演奏: 東京ブラスソサエティ

2025/5/31 【土】14:00 開演 (13:30 開場)

ティアラこうとう 大ホール

江東公会堂 TEL 03(3635)5500 都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉駅」A4出口徒歩6分

入場料 2,000円(一般)  
1,000円(小・中学生)

主催/東京ブラスソサエティ

後援/日本ブラスバンド指導者協会

チケット取扱い/ティアラこうとう 03-5624-3333

協力/公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団

協賛/株式会社 ヤマハミュージックジャパン

問い合わせ/山本:TEL&FAX 03-3931-0676

# TOKYO BRASS SOCIETY

東京ブラッソサエティ(T.B.S)は1972年に我が国初の本格的なブリティッシュ・スタイルの金管バンドとして創立されました。本年(2025年)創立53周年を迎える事が出来ました。

創立当時は、まだブリティッシュ・スタイルの金管バンドの楽器編成も、演奏法も手さぐりの状態でしたが、レコード等で聞いた英国のバンドの響きのすばらしさに魅せられて、私達も何とかしてあのようなサウンドを出したいという事で、さまざまな努力をしました。

最初は英国のサウンドをまねるところから始めました。英国のバンドは160年以上の歴史があり、このスタイルのバンドが社会に根づいています。英国では子供の頃から、このサウンドを耳にして育っています。私達のように初めてこのスタイルを演奏する者にとっては大変です。英国から指導者を迎えて指導してもらったり、直接英国をおとずれて本場の英国のサウンドを見聴きしているうちに、少しずつですが、前にもましてこのスタイルのバンドのすばらしさが、判ってきました。

英国の金管バンドは、金管楽器の合奏でも、トランペットやフレンチホルン等を使用せずに、コルネットやフリューゲルホーン、アルトホーン、バリトンホーン、ユーフォニアム、E♭バス、B♭バスという、いわゆるサクソルン属の楽器を使用して編成されています。このサクソルン属の楽器というのは、楽器制作者で研究家として有名なベルギーのアドルフ・サクスの考案した一連の楽器群です。

サクスは今のサクソフォーンを発明、開発した人ですが、金管楽器群にも、ソプラノからバスの声部全て奏でる一連の金管楽器群を開発しました。E♭管と、B♭管の二種類で、E♭ソプラノから、B♭バスまでを一つの楽器のファミリーのように7種類の楽器で作りました。トランペット等の円筒管部分を多く持った楽器は、明るく輝かしい音色になりますが、このサクソルン属の楽器はトランペット等にくらべると円錐管部分を多くもっていますので音が柔らかく、他の楽器とのブレンドがよく出来ます。

英国では、1850年頃からこのサクソルン属の楽器で編成された本場のブラッソバンドが盛んになり、1853年から毎年全英のナショナルチャンピオンシップというコンクールを行い現在もつづいています。

この間、英国のバンドのレベルは大変向上し、有名な作曲家や編曲者が数多くのオリジナル作品をはじめ、オーケストラの名曲を編曲しています。

日本においては、東京オリンピック(1964年)の頃、小学校にバンド活動が出来るかを研究し、最初はトランペット鼓隊として、金管楽器の導入を行いました。その後、各地の小学校に於て、実験教室を行い、指導法の研究や、教則本の作成を行い、ブラッソアンサンブルの型を取り入れながら、金管バンドの普及につとめました。この50年間に小学校において金管バンドが盛んになり、今やその頃金管バンドを経験した子供達が、音楽大学に進み、卒業してから指導者となって、各地で金管バンドが大変多くなってきました。

1998年には、日本吹奏楽学会において、私達、東京ブラッソサエティが、日本吹奏楽アカデミー賞(啓蒙部門)に選ばれました。このアカデミー賞は、年間を通して吹奏楽及び管打楽器の分野に関する特にすぐれた活動に対して表彰されるものです。

ブラッソバンド(金管バンド)の研究と普及を目的として1972年に創立されて以来、日本において数々の初演を行うと共に、金管バンドという編成を示し、吹奏楽とは異なった編成ですが、音楽のすばらしさ、楽しさを求めてきました。金管楽器と打楽器のみの合奏、本当のブラッソバンドで、「どの様な音楽表現が可能か」というのも研究課題です。

今回の第49回定期演奏会は、太田聡さんに指揮をしていただきます。太田聡さんは、大学在学中より金管バンドの研究をしており、演奏者、指揮者、指導者として活躍しています。I部の選曲プログラミングは、太田聡さん自身が制作しました。II部は山本武雄の選曲で、ブリティッシュ・サウンドを求め、皆様に喜んでいただける様にプログラミングをしました。ぜひ生の音楽をご家族でお楽しみください。

東京ブラッソサエティ 代表

洗足学園音楽大学名誉教授

日本ブラッソバンド指導者協会 理事長 山本武雄

## 指揮者プロフィール



### 太田 聡 Satoshi Ohta

北海道出身。帯広北高等学校を経て、玉川大学文学部芸術学科(現芸術学部)卒業、同大芸術専攻科終了。トランペットを金子義人、山本武雄、津堅直弘の各氏に師事。コルネット及びブラッソバンド・吹奏楽指導法を山本武雄氏に師事。現在、玉川大学芸術学部パフォーマンス・アーツ学科、及び聖徳大学音楽学部、非常勤講師。日本ブラッソバンド指導者協会理事、日本トランペット協会会員。町田サガナミ・ブラッソバンド・ラボ、宇都宮ブラッソサエティ、及び吹奏楽団ポコ・ア・ポコ、指揮者。VIVID BRASS TOKYO テナーホーン奏者。東京ブラッソサエティ、コルネット・フリューゲルホーン・テナーホーン奏者。他に、金管アンサンブルや吹奏楽、オーケストラのトランペット奏者としても活動中。



### 山本 武雄 Takeo Yamamoto

東京藝術大学音楽学部器楽科(トランペット専攻)卒業後、同大学管弦楽研究部のトランペット奏者として務める。1987年～1988年、文部省在外研究員として、英国及びヨーロッパ各国にて“金管合奏法の指導”研究のため渡英。英国ナショナルブラッソバンド協会から功労賞を授与され、英国ブラッソバンド協会会員、指導者資格を与えられる。1972年、我が国初のブリティッシュスタイルの金管バンド「東京ブラッソサエティ」を創立し、ブラッソバンドの研究と普及、発展に努めている。1998年、日本吹奏楽アカデミー賞を受賞。2019年、英国(ブリティッシュ・パンズマン)より、日本でブラッソバンドの文化を発展させた業績により、Herbert Whiteley賞を受賞。日本管打・吹奏楽学会、日本吹奏楽指導者協会、“21世紀の吹奏楽”実行委員会等において吹奏楽の指導、客演指揮、審査員を務める。日本ブラッソバンド指導者協会理事長。2006年より洗足学園音楽大学教授・ブリティッシュブラッソアドバイザー、2012年より名誉教授。